

たけら

TAKUSUI
No. 748

2

February, 2019

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



関西学院大学生によるカキの収穫 (赤穂市坂越)

第22回 山田記念賞 表彰式・祝賀会開催

第43回 淡路のり品評会 開催

《今月の海上安全標語》～ 先入観・思い込みに注意! ～

海上や道路での衝突事故は、「相手が止まる」など過去の経験からくる自分に有利な情報ばかりを集める心理状態になることで発生します。

常に疑問を持ち、先入観にとらわれないように注意しましょう。

大丈夫! それは本当に 大丈夫? では、今月も安全操業で!

ようこそ

くずつと真つ直ぐに

(ようこそとは航海用語で「宜しく候」の意。主に船を直進させるときの号令として使われる)

隠れインフル

日本漁船保険組合 兵庫県内海支所 課長代理 下垣 勝



まさか自分が……。

1月中旬、外回りから帰社途中の夕方に妻から3歳の息子がインフルエンザに感染したと連絡があった。

その日、私は体調も良くいつも通り仕事に努めていたが連絡を受けてから徐々に足が痛くなり始めた。仕事を終え帰路に就くが歩くのも辛い状態となっていた。その夜、寝ようとしても足が痛く(何故か関節ではなくふくらはぎ)

中々寝つけず両ふくらはぎに湿布を貼りその場をなんとか凌いだ。翌朝、足の痛みも和らぎ熱もなく出勤する事は可能であったが、もしもの事に備え病院に行くに受付の人が「〇〇君のお父さんですね。」と勘付きすぐに別室に案内され隔離された。

診察待ちをしているとインフルエンザに感染したと思われる患者が入室してきて私以上に症状がひどい患者で埋め尽くされた。

内心自分はインフルエンザではないと思いつみ、ネクタイを締め午後から出勤する気満々であったが、鼻の粘膜を採取され待つこと数10分、検査キットにくつきりと線が表示されているではないか。先生から「陽性ですね。A型です。」とさりとと告げられた。

そう今流行りの「隠れインフル」

その瞬間、戸惑いつつ前日に私と接した人達に大変申し訳なくなりました。(尚、復帰後、皆様方に確認したところ大丈夫と返事を受け安心しました。)

この度、息子から感染したが、ワクチン接種を受けていた事もあり症状が軽くすんだ為、ワクチン接種を受けていて良かったと実感すると共に感染力の強さに脅威を感じたものである。

インフルエンザに感染するのは何十年ぶり?くらい記憶がなく、日頃通勤時等にはマスクを着用し、手洗いがいい、毎年ワクチン接種を受け気にかけている方だが、感染してしまい新年早々ついていなく落胆した。

今年のインフルエンザは例年以上に全国各地で猛威をふるっており2回感染する可能性も高く、今以上に体調管理に気をつけて休んだ分を取り返すつもりで仕事に励みたいと思っております。

皆様方もくれぐれも無理をせずインフルエンザが疑われる症状に気付いたらできるだけ早く医療機関で診察を受ける事をお勧めします。

CONTENTS

No.748 February, 2019

- 2 ようこそ
- 3 第22回「山田記念賞」表彰式・祝賀会
- 4 第43回 淡路のり品評会
兵庫県漁港漁場協会 事務所移転のお知らせ
- 5 第56回 淡路農林水産祭
関西学院大学田和ゼミ(文学部)との消費流通検討交流会
- 6 高砂市漁連 海難事故「ゼロ」を目指し講習会
大型船シミュレーター研修
- 7 平成31年度 兵庫県漁村子弟育英生募集
城崎マリンワールド特別展
- 8 税務署からのお知らせ
- 9 兵庫JCC通信
- 10 旬に想う
大輪田塾だより



表紙の言葉

「関西学院大学生によるカキの収穫」(赤穂市坂越)

摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会と関西学院大学文学部 田和 正孝教授のゼミ生との交流は5年目、夏のカキ種付け作業に続く漁業現場での体験学習となりました。

学生たちは漁業者と直接交流を図ることによって、カキ養殖漁業の知識のほか、カキが大変な作業工程を経て店舗に並ぶことを学びました。今回の体験を多くの人に発信していただき、漁業への理解や豊かな海を愛する心に繋げてほしいものです。

第22回「山田記念賞」表彰式・祝賀会 開催 ～本県水産業の発展に貢献された3名が受賞～ 第22回「山田記念賞」表彰式・祝賀会



「山田記念賞」は、永年にわたり大きな夢と希望を抱いて本県水産業の発展に尽くされた故山田岸松氏を偲び、その功績を記念するため平成3年に創設され、水産業の経営、技術に優れ、多年にわたり本県水産業の振興に貢献し、その功績が認められた方々に贈られる賞で、今回で22回目となります。

今年も（一財）兵庫県水産振興基金（東根 壽理事長）主催による同賞表彰式および祝賀会が2月6日（火）神戸市内のホテルで開催され、県・漁協等の関係者ら76名が出席し、執り行われました。

本年度受賞者は、中谷 淳一様（JF明石浦）、中尾 満男様（JF南あわじ）、西村 護様（JF但馬）の3名で、当基金 井戸 敏三会長（兵庫県知事）が受賞者・団体へそれぞれ「天与」と命名された「男女漁業者立像」レリーフを贈呈しました。東根 壽理事長が主催者挨拶をしたあと、兵庫県 井戸 敏三知事は「本日受賞された3名の方は、先達としてこれまでの体験や培った技術を伝えてもらいたい」と挨拶をされ「暖冬の 影響いかん 先行きを 懸念気遣い しっかり行動」とした短歌を贈られました。また、受賞者を代表して中尾様から謝辞がありました。その後、大輪田塾14期生5名も紹介され、今後の抱負を語りました。

福田 一義副理事長（JF神戸市）の開宴挨拶に始まった祝賀会は、参加者一同、受賞者の栄誉をお祝いし、終始華やかな雰囲気なかに包まれるなか、JFなぎさ信漁連 中川 照央経営管理委員会 会長が万歳三唱を行い、幕を閉じました。



【大輪田塾14期生のみなさん】（3名は漁や業務により欠席）
 左から、奥田芳憲（日本漁船保険但馬支所）、菱谷維起（JF淡路島岩屋）、松本浩次（JF高砂）、福井健二（JF林崎）、或谷道男（JF明石浦）（敬称略）



【山田記念賞受賞者】左から、東根理事長、田沼会長、中谷ご夫妻様、中尾ご夫妻様、西村ご夫妻様、井戸知事

第43回 淡路のり品評会 開催!! 優秀品24点が選ばれる

(一社) 淡路水交会(東根 壽会長)主催による淡路のり品評会が、2月1日(金) 淡路水産センター(洲本市)で行われ、報道陣が集まるなか優秀品24点が選ばれました。43回目となるこの会は、生産者の意識の向上と生産技術の研鑽を図る目的で毎年開催されており、12月上旬から1月上旬までに淡路島内で生産された乾のりについて審査を行うものです。

系統団体・県洲本農林水産振興事



どのノリも品質は良く、難しい審査となりました

務所の関係者ら10名の審査員が、応募のあった72点の中から第一次審査で選ばれた50点を対象に、色・艶・風格・味などを基準に審査を行いました。良い出来栄えのノリが出揃ったため、会場では審査員らが頭を悩ませていました。

審査の結果、選ばれた優秀品24点(別表参照)のうち、最上位の兵庫県知事賞は大草水産(JF森)が受賞しました。

なお、今回も出品されたノリはすべて味付け加工して、福祉施設等に無料配布されます。

第43回 淡路のり品評会審査結果表

(敬称略)

賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名	賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名
兵庫県知事賞	森	大草水産	大草 義美	兵庫県漁業共済組合長賞	一宮町江井	合水産	東條 孝彦
兵庫県議会議長賞	育波浦	桑名水産	桑名 幸充		室津浦	栄福水産	漣 勝也
兵庫県淡路県民局長賞	森	巖水産	森 吉秀		富島	福吉水産	西條 和明
兵庫県漁業協同組合連合会長賞	育波浦	柳川水産	柳川 高広	兵庫県JF共済推進本部長賞	津名塩田	中野水産	谷 忠男
兵庫県立農林水産技術総合センター所長賞	仮屋	新平水産	相田 和民		仮屋	三大水産	相田 治良
兵庫県淡路県民局洲本農林水産振興事務所長賞	森	真留水産	森 正之	日本漁船保険組合 兵庫県内海支所運営委員長賞	森	利平水産	森 正安
洲本市長賞 島内市長賞	五色町	大橋水産	大橋 盛夫		室津浦	丸喜水産	望月 嘉人
	淡路市長賞	森	源吉水産		岡田 桂昌	森	丸竹水産
	南あわじ市長賞	南淡	西本水産	西本 琢美	仮屋	岡田水産	岡田 光司
なぎさ信用漁業協同組合連合会 経営管理委員長賞	森	安啓水産	畠田 安啓	一般社団法人 淡路水交会長賞	室津浦	大関水産	岡野 門太
	森	栄住水産	森 活住		育波浦	柿本水産	柿本 幸久
	室津浦	元富水産	松下 時久		室津浦	まる民水産	小央健太郎

兵庫県漁港漁場協会 事務所移転のお知らせ

この度、兵庫県林業会館の建て替え工事が完了し、平成31年2月27日(水)に事務所が移転します。
なお、移転に当たり電話番号が変更になります。

新住所：〒650-0012

神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号 兵庫県林業会館 4階

新電話番号・FAX番号：078-335-7805

第56回 淡路農林水産祭 開催!



1月15日
（火）、淡路島の豊作豊漁を祈願し、農林水産業の振興を目的とした淡路農林水産祭が淡路市多賀の伊弉諾神宮にて開催されました。

式典では、今年一年の豊作と豊漁を祈願する「農林水産物豊穰豊漁祈願祭」が

系統団体や行政機関の代表者等が参列するなか執り行われました。また、引き続き行われた式典では、田中孝氏（JF富島組合長）と連 勝也氏（JF室津浦組合長）が兵庫県自治賞を授与されました。また、農林水産功労者として、行政と漁協の調整役として市内水産振興に貢献された野島 好弘氏（JF富島）、操業調整や資源管理の推進に尽力された中川 雅文氏（J

F津名）、の2名や農業関係の功労者計9名が表彰されました。農林水産物等コンクール水産加工品（のり）の部では、JF一宮町 小三水産に知事賞（金賞）、JF育波浦 柳川水産に議長賞（金賞）がそれぞれ授与されました。

会場では島内各地で生産された農林水産物の販売・展示が行われ、あいにくの天候でしたが午前中を中心に多くの参拝客で賑わいました。

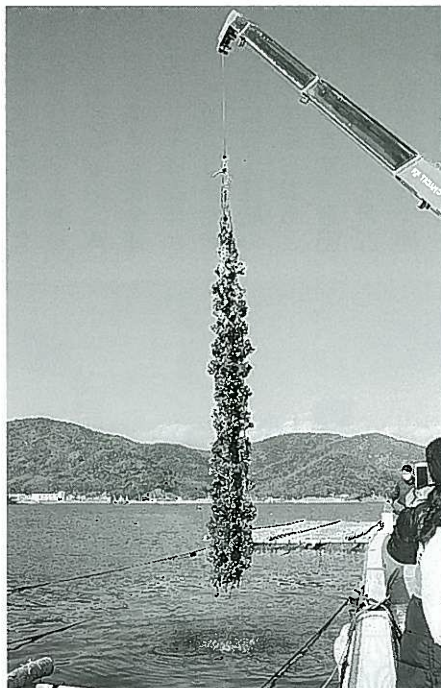
【当日、表彰を受けられた方】(敬称略)

	氏 名	所 属
兵庫県自治賞	田中 孝	J F 富島
	連 勝也	J F 室津浦
農林水産功労賞	野島 好弘	J F 富島
農林水産功労賞（広域）	中川 雅文	J F 津名
金賞（知事賞）	小三水産（磯部 富造）	J F 一宮町
金賞（議長賞）	柳川水産（柳川 高広）	J F 育波浦

関西学院大学田和ゼミ(文学部)との消費流通検討交流会を開催 「カキ養殖について学習収穫」

摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会（大西正起会長・JF伊保）は、関西学院大学文学部 田和正孝教授のゼミ生との交流を平成25年から続けており、昨年6月に続き「消費流通検討交流会」を1月19日（土）、赤穂市坂越の海の駅しおさい市場で開催しました。

田和教授とゼミ生ら17名は、赤穂市漁協青壮年部大河弘樹氏より西播地区で盛んなカキ養殖についての説明を聞いた後、6月にカキ幼体の着いたホタテ貝をロープに付ける種付け作業を行ったものを海中に吊るしてあるカキ養殖筏へ移動し、実際に成長し



成長したカキ



カキ剥き作業



カキ殻掃除作業

たカキを確認するとともに収穫しました。収穫後は、カキ剥きを行う班とカキ殻を掃除する班とに分かれ作業を行いました。貝のどの部分にカキ剥きナイフを刺し、貝柱を切り離すのかなどを青壮年部員に指導を受けながらカキ剥き作業を行いました。カキ殻掃除班はホヤやフジツボなどの付着物を真剣な表情で取っていました。

学生たちは、想像より手のかかる作業工程を経てカキが流通していること実感し、漁業の大変さ、素晴らしさを体験した様子でした。

高砂市漁連 海難事故「ゼロ」を 目指し講習会開催

漁船の海難防止「〇（ゼロ）」を目指して、高砂市漁業組合連合会（松本 力会長）は毎年この時期に「漁船海難防止講習会」を開催し、操業安全指導とライフジャケットの全員着用を呼びかけています。今年も1月29日（火）、高砂市役所で加古川海上保安署及び日本漁船保険組合兵庫県内海支所から講師を招き、来賓の高砂市登 幸人市長や系統団体関係者をはじめ、JF高砂・JF伊保の漁業者約50名が参加しました。

講演では、加古川海上保安署池宮崇専門員から「船舶交通の安全について」として、最近の海難発生状況や平成28年に改正された港則法について、万一の時には「1-8番」への通報、ライフジャケットの常時着用と点検方法等について指導がありまし
た。次に、日本漁船保

険組合兵庫県内海支所 沢辺支所長は「海法律について」として、『不可抗力と船舶撤去義務』『海難事故による損害賠償の範囲』について、民法、港則法、港灣法に基づき講演を行いました。次に、JF兵庫漁連から「ライフジャケットの着用実演」として、固形式・膨張式など様々なライフジャケットの紹介を行いました。その後、参加者に膨張式ライフジャケットを着用してもらい、着用時の注意点や作動方法について体験していただきました。最後に同市漁連 高谷繁喜副会長（JF伊保組合長）の挨拶で閉会しました。



大型船シミュレーター研修を実施 ～海技大学校で開催～

国土交通省神戸運輸監理部、独立行政法人海技教育機構 海技大学校（芦屋市）が主催する安全運航講習会は、平成22年から毎年、イカナゴ漁期前のこの時期に安全運航の意識を高めてもらおうと開催されています。9回目となる今年は、1月22日（火）同大学校内で開催され、明石海峡付近で操業するJ

F組員、



シミュレーター体験を行う参加者



救急救命講習

職員をはじめ系統団体から参加した約30名は、漁船海難発生のメカニズム解説、CPR（心肺蘇生法）、12万トンの大型船から見た小型船の様子を体験するなどの講習を受けました。

最初に行われた同校 岩瀬潔教授の講演「漁船海難について」では、衝突海難の背後要因にある自分に有利な情報ばかりを集める心理状態「確証バイアス」があり、事故回避のために常に疑問を持ち、先入観と逆の考え方をすると話されました。

CPRとAED使用法を学ぶ「救急救命講習」では、同校 濱田聡樹准教授から、一時救命処置の重要性や処置の流れの解説に加え、胸骨圧迫・気道確保・人工呼吸の実演を行いました。

大型船ブリッジを忠実に再現したシミュレーター講習では、神戸沖から明石海峡大橋を通過するまでを体験し、昨年末に濃霧時における死亡海難事故があったことから、濃霧時における大型船と漁船の見え方を双方の視点に切り替えて確認しました。大型船からは漁船が確認しにくいことを体験し、「これでは漁船は全く見えない」「漁船からは見えていても大型船からは見えていないことが分かった。今後は気を付けたい。」などと声が上がりました。

また、大型船の前を横切る漁船が船の前方で死角に入ったところで、大型船・漁船の双方の視点に画面を切り替えて距離感の違いも体験し、大型船側から見た光景との差に驚いたよう漁業者は「このくらいの距離まで接近することはある。大型船からは周りが見えにくい事がわかった。」と話し、安全航行について再確認したようです。

平成31年度 兵庫県漁村子弟育英生募集!!

(一財)兵庫県水産振興基金

兵庫県水産振興基金では平成31年度育英生を次のとおり募集します。また、各JF、系統団体あてに案内を郵送します。

1 応募資格

- ① 県下の漁業協同組合又は水産系統団体に所属する組合員又は職員の「子弟」及び「遺族」であり、高校又は大学等に在学(入学予定を含む)し、所属漁協・団体の長が育英生として適当と認めた方。
- ② ただし、日本学生支援機構等から奨学金を受けている方は、本基金の育英生になることができません。

2 貸与金の額

学 別	貸与月額	
大 学 生	30,000円	
高校生	寄宿生	25,000円
	通学生	20,000円

3 申込方法

所属漁協を通じて「漁村子弟育英生申出票」、「貸与申込書及び添付書類」を提出してください。

提出期日	漁村子弟育英生申出票	平成31年3月29日(金)
	貸与申込書及び添付書類	平成31年4月26日(金)

4 育英生の採用決定

本基金選考基準により審査のうえ採否を決定し、6月中旬頃に所属漁協を通じて連絡します。

5 育英資金の貸与方法

所属漁協を通じて、前期分・後期分をまとめてそれぞれ4月・10月に貸与します。
(ただし、初年度前期分は7月に貸与)

6 貸与金の返還方法

- ① 貸与金は無利息とし、貸与期間終了(卒業)後、1年間据え置き2年目から返還していただきます。
- ② 返還期間は、貸与金額に応じて返還開始から5～10年間です。

7 その他

漁船海難遺児に対しては、本基金の事業とは別に、兵庫県漁業協同組合連合会が事務局となって取り扱っている有利な育英制度がありますのでご留意ください。

豊かな海発信プロジェクト

城崎マリンワールド特別展「日本海に生まれたホタルイカ」の実施について

今年度、「ひょうごの豊かで美しい海」の県民の理解を深めるために「ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会」が取り組む事業の一環として、県内の水族館との連携企画を実施しています。この度、その第三弾として、城崎マリンワールドと共催により下記の特別展が実施されます。ぜひご来場ください。

主 催 城崎マリンワールド、ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会

日 程 平成31年2月16日(土)から3月24日(日)まで

場 所 豊岡市瀬戸1090城崎マリンワールド「シーズー」内

内 容 タイトル「日本海に生まれたホタルイカ」

生きたホタルイカの展示へのチャレンジ、パネルの展示、映像の上映を行います。



税務署からのお知らせ

平成30年分

確定申告

ネット申告が **更に**
便利になりました!

詳しくは **確定申告** **検索**



スマホでも申告できます

年末調整済の給与所得が1箇所のみの方が特に便利です

申告の際には

マイナンバーの記載+本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です

※ネット申告(e-Tax)で提出の場合は、本人確認書類の提示又は写しの添付は不要です。

申告と納税

窓口での相談・申告書の受付は、**平成31年2月18日(月)**からです。

所得税および復興特別所得税・贈与税

平成31年

3月15日(金)まで

消費税および地方消費税(個人事業者)

平成31年

4月1日(月)まで

確定申告書の作成に当たっては、「復興特別所得税額」の記載漏れのないようご注意ください。

税務署

ブランド米 「にっしいライス輝」の 生産振興

JA兵庫西

JA兵庫西は農業者の所得増大のため、水稻農家と畜産農家の連携による、牛ふん堆肥を使用した環境に優しく安全・安心なブランド米「にっしいライス輝」の生産拡大と販売強化に取り組んでいます。

このブランド米は、畜産農家の牛ふん堆肥を10アール当たり約2トン施用して土づくりを行い、化学肥料や化学合成農薬の使用を慣行の30%以上削減する「環境創造型農業」を実施しています。県が定める「ひょうご推奨ブランド」の認証を取得し、地域の自然条件に適した「きぬむすめ」「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「ぴかまる」の4品種を栽培。29年産の5.4ヘクタールから、30年産は20.9ヘクタールへと拡大しました。

同JAでは「にっしいライス輝」の栽培講習会を開き、生産者に営農指導を行い、生産された米はJAが全量買い取り、同JAの直売所「旬彩蔵」や「野菜市」で販売しています。価格は「コシヒカリ」が5kg2,150円と、一般栽培の米に比べて高くても、売れ行きは好調です。

また、JAでは認知度向上に向けて、「にっしいライス輝」のPRを兼ねた料理コンテストを開きました。テーマは「にっしいライス輝」に合うおしゃれなご飯のお供。一般公募で集まった66作品の中から、「鶏そぼろとひじきのしっとりふりかけ」が最優秀に選ばれました。

さらに、JAは「旬彩蔵」で試食イベントを開くなど、積極的にPRを行い、31年産は25ヘクタールの栽培を計画しています。



31年産はさらなる拡大を目指しています

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

姫路医療生活協同組合

笑って歌って福よ来い

1月12日(土)、姫路市立図書館 網干分館大ホールで、あぼしブロック主催の「新春のつどい」が開催されました。今回は兵庫県消費者トラブル防止事業の補助金を受けて企画され、地域の方々にも広く参加を呼びかけ、208人が参加しました。

第1部は「振り込め詐欺にご用心」と題して、落語家の笑福亭智之介さんのお話を聞きました。

少年時代より得意とされているマジックを交えながらのお話は本当に楽しく、会場内は感心したり、驚いたり、笑いの渦に包まれました。また騙されない為には「もしもし、オレオレ」と電話がかかってきたら、こちらから名前を呼ばない、合言葉を決める、掛け直す、等のポイントを教えて頂きました。昨今、巧妙になっている劇場型オレオレ詐欺を題材にした落語も楽しく、被害にあわない為にはまず相手の手口をよく知っておくことだと大変勉強になりました。

第2部はデイサービスを中心にボランティア演奏活動をされているジャズバンド『スウィング・フェローズ』のライブを聞かせて頂きました。ピブラフォン、ピアノ、ベースで奏でるジャズに会場はうっとり。また「上を向いて歩こう」、竹い日旅立ち」など懐かし歌も聞かせて頂きました。最後はアンコールのかけ声で会場は最高に盛り上がりました。

新春早々楽しいイベントに、参加された皆さんは大変満足されていました。



新春のつどい

<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



旬に想う

写真と文
遊方子



テレビ時代劇／鬼平犯科帳

◆ テレビは、放送開始の昭和28年当時、契約台数も少なかったが、今や一億台を超えて生活に深く定着し、日本文化の一翼を担っている。筆者は少年期からチャンバラが大好きで、映画を見ては真似をして遊んだ。空き地に集まり「鞍馬天狗」や「丹下左膳」になった。その時代劇映画も全盛の黄金期を経て、人気俳優の逝去などで衰退、今やテレビの時代劇も勢いが皆無である。新しい放送枠も見られなくなり、ひとり大河ドラマのみ頑張っている。民放での王者だった『水戸黄門』や『銭形平次』も、僅かに再放送で命脈を保っているのみだ。昭和44年から続いた『鬼平犯科帳』も同様な状態にあり、新作品は全く出ない。

◆ 『鬼平犯科帳』が従来の時代劇と異なったのは、勧善懲悪や義理人情を主たるテーマとせず『人間は善いことをしながら、一方で悪い事をする』という原作者の哲学を取り入れた事であった。江戸らしい情景や暮らしを映し、当時を髣髴とさせる画面が絶賛された。中村吉右衛門以下レギュラー陣の演技の確かさと、毎回ゲスト出演する盗賊役者が楽しみだった。印象に残る俳優は田村高廣で『雨乞い庄右衛門』の名演は忘れ難い。物語前半に出る水車を回す農夫役も良かった、「山内八郎」はドラマに欠かせぬ端役専門の演技集団の一人だが、心に残る名演技だった。毎週、盗賊が闇夜に跳梁跋扈、鬼の平蔵に打倒された。

◆ 近江八幡市へ八幡堀を見学に行った事がある。川を挟んで兩岸に古い建物が並び、細いながらも水量があった。川岸に茶店を置き、小さな船を通わせれば、直ぐ江戸時代が出来上がり、この独特の雰囲気はさすがのものだ。『剣客商売』のタイトルバックになったし、大抵の時代劇に八幡堀が登場している。時代劇は金食い虫なのである。髪・衣装・持ち物や調度品、小道具も大道具も全てが人工の作り物だから手が抜けず、CGを使った映像でも膨大な費用が掛かる。

◆ 『鬼平犯科帳』は「オリジナル脚本に鬼平犯科帳とつけて放送し、原稿料を貰うような野暮はして呉れるな」と池波正太郎の遺言だった。原作が尽きて終了した。テレビ時代劇を聴取するのは高齢者だけで、購買欲に結びつかないから、肝心の視聴率が下がる一方で提供スポンサーが降板した。致し方あるまい。昭和28年開局の民放の老舗も時代劇の枠をゼロとした。長寿番組『銭形平次』が夜八時台を飾ったのも遙かな昔となり、あの感激の時間は永遠に戻って来ないだろうが、時代劇は面白い。過去へ逆上り架空の時が楽しめて実に良かった。ロケ撮影にも難儀な時代になって、尻すぼみもヤムを得ないと思う。

大輪田塾だより

「水産業協同組合法」

1月の大輪田塾は29日(火)に開講されました。

「水産業協同組合法について」県水産課漁政班班長藤克浩氏より、漁業協同組合の成り立ちとして、原初的な漁場の利用形態として江戸時代の漁場管理の概念から明治漁業法制定、その後、民主化・改正された水協法と漁業法へ変化した歴史等の説明が行われました。

続いて、主査 中桐栄氏から、協同組合の始まりから原則や漁業協同組合の沿革、水産業協同組合法の条項について詳しく説明が行われました。

また、漁業協同組合模範定款と塾生所属の漁業協同組合定款を比較しながら細かな説明を受け、自らが所属する漁協への知識を深めるとともに法律の中に盛り込まれている協同組合の理念を学ぶ内容の濃い講義となりました。



中桐主査の講義



藤班長の講義